



# あまみ



コクトくん  
© Amami city

第41号

平成28年6月発行

## 市議会だより



奄美文化センターにて（平成28年3月20日）

### 第1回定例会

平成28年2月18日～3月22日

発行／奄美市議会

編集／奄美市議会だより編集委員会

〒894-8555

鹿児島県奄美市名瀬幸町25番8号

TEL (0997) 52-1111

FAX (0997) 52-2815

Eメール：gikai@city.amami.lg.jp

第1回定例会一般質問・・・2P～7P

議会報告会と録画配信・・・8P～11P

常任委員会の審査概要・・・12P

定例会の主な議案、陳情・・・13P～14P

特別委員会の審査概要・・・14P～15P

議会の動き・・・16P

# 第一回定例会 一般質問

三月三日、四日、七日、八日の四日間で十七名の議員が市政全般について市当局に問いただしました。要約を紹介します。

(質問順に掲載)

## ふるさと納税セミナーの

### 開催予定について



津畑 誠 (無所属)

**問** ミカンコミバエ工種群再侵入に係る緊急支援をふるさと納税の使途に追加できないか

**答** 農業、卸小売業、流通、サービス業、製造業者を対象とした経営対策資金利子補助金の創設を新年度予算として計上している。

**問** 昨年十二月に提案した、ふるさと納税セミナーの開催予定について

**答** 三月十八日に奄美文化センターで開催予定。

**問** ふるさと納税セミナーの広報・周知について

**答** チラシやポスターを各種団体や店舗等に配布し、市のホームページや地元新聞で広く広報する。

**問** ふるさと納税の寄附申込みの各事業への使途指定状況の内訳件数及び寄附金額は

**答** 一集落1ブランド事業に五十件・五百六十万円、定住促進対策に三十七件・九十四万円、人材育成に七十六件・四百九十万円、地域文化の保存・継承に七十二件・三百九十万円、その他に百九十件・二千四百万円。

**問** 各事業に充当した寄附金額はいくらか

**答** 現在、地域振興基金に積み立てている。



## 公契約条例制定に向けた

### 取り組みについて

崎田 信正 (日本共産党)



**問** 公契約条例制定に向けた取り組みは

**答** 新年度で情報収集を進めながら庁内検討委員会の設置をはじめとして各種団体との意見交換会やアンケート調査の実施や先進地の視察等を検討している。

**問** 市内労働者の実態等の把握が必要ではないか

**答** 県は毎年「鹿児島県労働条件実態調査」を実施している。この調査の他、国・県が実施している他の労働関係調査から

実態把握に努めたい。不足する調査項目については調査内容を分析の上、検討したい。

**問** 国民年金の加入・減免の状況は

**答** 平成二十七年三月末で二十歳以上六十歳未満の人口二万九千九百六十四人のうち国民年金第四号被保険者数は七千四百三十二人、第三号被保険者は二千六百七十七人。納付率は平成二十六年は五十一・九%。(県・全国平均より低い) 免除率は第一号被保険者のうち法定・申請免除、納付特例猶予等の人は五千百十五人で六十八・八%。

## 子どもの貧困対策について

松山 さおり

(無所属)



**問** 医療費助成制度の給付方式について

**答** 現在、県内市町村は全て自動償還払いとなっており、現時点で市単独で現物給付を行うことは困難である。しかし、これまで子ども医療費助成事業などの現物給付については「ひとり親家庭医療」「重度心身障害者医療」「その他の福祉関連施策」と併せて議論されており、現時点で制度化には至っていないが、県や他市町村と足並みを揃えて、引き続き検討していきたい。

**問** 子どもの貧困対策に

ついて

**答** 保護課では生活困窮者や生活保護受給者への就労支援を。福祉政策課においては支援が必要なひとり親世帯に、経済的な支援として「児童扶養手当」「ひとり親医療費助成」、また、就労につながる母子家庭の母の修学の際に、高等技能訓練促進費を支給している。子どもの貧困対策を進めるに当たっては切れ目ない必要な施策を実施し、今後とも関係部署との更なる連携強化に努めていきたい。

**その他の質問事項**

- 子ども子育て支援新制度について
- 市民後見人制度について

## ミカンコミバエの

### 移動規制について

奥 輝人

(自由民主党)



**問** ミカンコミバエの移動規制について

**答** 今後出荷予定のスモモやマンゴーは、移動制限基準日が設定され、基準日以降に誘殺が確認されたら、その地点から半径五キロメートル以内は移動禁止区域となる。それ以外の区域は、植物防疫所の確認・チェックをした場合、島外への出荷ができる。

**問** 侵入警戒防除のマニユアルについて、沖縄県石垣市は、ミカンコミバエが、トラップに誘殺

されてもされなくても通常時において、テックス板の設置を年八回実施している。奄美マニユアルの見直しについて

**答** 沖縄県同様のマニユアルを県民へ要望していく。

**問** 流通、卸、小売事業者への支援について

**答** 新年度予算に、奄美市経営対策資金利子補助金として、一千万円計上。二年間利息を全額補助する。

**問** 国保税の税率改正に伴う、低所得者の負担増になる市民の不安解消について

**答** 今回の改正の趣旨である、平準化を図る事であり税の負担の公平感が保たれる事を説明していく。

## 認定子ども園の

### 設置予定について

栄 ヤスエ

(公明党)



**問** 妊娠・出産・子育ての切れ目ない支援。相談から支援をワンストップで行う子育て地域包括支援センター設置予定は

**答** 将来的には、子育て世代支援センターとして体制の推進を図っていく。

**問** 本市に、認定子ども園の設置予定は

**答** 今後、事業計画に基づき認定子ども園のあり方を検討する。

**問** クリーンセンターに持ち込まれる生ごみの現状について

**答** 本市の事業所・家庭

ごみの平成二十六年年度の総量は、一万四千二百九十二トン。その八、八%の約千二百五十七トンが生ごみと推計される。

**問** ごみ減量のために「三〇二〇運動」を取り入れられないか

**答** 市役所の送別会等でまず取り組み、広報誌等で広く展開を図る。

**問** 希少動物の脅威となっている、ノネコ対策は

**答** 奄美の固有種に影響を与え、外来生物の対策は避けて通れない。山中のノネコ対策は広域的な取組が必要。具体的なノネコ対策を検討中。

## ふるさと納税について

もと  
**元野景一**

(自由民主党)



**問** ふるさと納税の庁舎組織体制強化と積極的取組展開について、庁内組織体制をどのように整え、どのように強化して進めるつもりか

**答** ふるさと納税に関する庁内の組織体制強化については、今回策定した「奄美市攻めの総合戦略」を具体化するため、総務部「ふるさと納税」や「空き家施策」などを統括する戦略プロジェクト室を設置するよう計画しており、この部署において、職員を配置し、ふるさと納税

PR、お礼品の選定、申請書及び納付書の発送、入金手続き、お礼状、お礼品の発送、ふるさと納税システムの構築などを戦略的に実施する。

**問** 奄美市の目標額をどのように設定しているのか

**答** 本年度は、二千万円を超える寄付で、まず約十倍の一億円を目指して、平成三十一年度のふるさと納税寄付金目標額を一億円と設定したい。もちろん最終的「ゴール」ではなく、さらには上を目指して行くと考えている。



ふるさと納税お礼品

## 「攻め」の総合戦略について

ひろかわ  
**平川久嘉**

(自由民主党)



**問** 「攻め」の総合戦略としての地方創生推進の取り組みについて

**答** 子ども医療費の拡充や光ブロードバンド整備のほか、サンセットプロモーション事業など、「観光」と「仕事」の「少子化対策」において、更に一歩踏み込んだ「攻め」の姿勢で取り組む。

**問** 陸上自衛隊配備で、市民の理解と協力を得る方策について

**答** 配備による島民の安全・安心の確保、災害時の復旧・復興支援対応等の必要性の他、経済活動

等による産業全般の波及効果などについて国の協力を得ながら、新年度の早い時期に議会や住民説明会を実施し周知を図る。

**問** 市内全域の光ブロードバンド環境整備について

**答** 光回線によるインターネット環境整備は、市内における情報格差の是正や今後の交流人口の拡大等において喫緊の課題となっている。早期の実現に向けて、年次の整備に取り組む。来年度は、笠利地区のうち赤木名中学校校区のほぼ全域にあたるエリアの整備を計画している。

## 市長の政治姿勢について

かわぐち  
**川口幸義**

(自由民主党)



**問** 市長の政治姿勢について、教育長人事と任命権について

**答** 平成二十七年四月に教育委員会制度が改正された。改正後は、教育委員会における教育委員長と教育長を一本化した新教育長となり、地方公共団体の長が、教育長として議会の同意を得て、任命することとなり、任期は三年となる。

この制度改正には経過措置として、改正法の施行日以前に教育長が就任した場合は、現教育長の在任期間は改正前の法律の

適用となる。

**問** と畜場建設への取組みについて

**答** 徳之島へのと畜場の視察、食肉組合との意見交換を挟み、三度、庁内でと畜場に関する検討会を開催し、奄美市として新施設建設に向けて、広域で取り組むべく、本島内の市町村にて二度の検討会を開催した。新施設建設の財源確保については、奄振事業を活用したく、所管は国土交通省になると思うが、今後、県に緊密の相談をしたい。

## 格安航空（LCC）の為の

### 基金創設について

戸内 恭次（無所属）



**問** 格安航空（LCC）の為の基金創設について

**答** チャーター機やLCC等に対応できる地上支援機材の購入配備、需要喚起対策事業として奄振交付金の増額を国県に要望協議することが重要で、赤字補てんの為の基金創設はこれらの状況の中で検討すべき課題である。

**問** 低運賃への「奄振交付金」利用状況について

**答** プロモーション費用について、平成二十六年度は二千万円、平成二十七年年度は二千五百万円、平成

二十八年度は三千五百万円に増額されており、新たにバニラ・エア、JAL

西社へ各二千万円広報宣伝費を交付予定。

**問** 公園等に設置されたトイレの洋式化について

**答** 高齢者の公園利用の増加、世界自然遺産登録による観光客増加が予想されるので整備が必要と考えている。

**問** 大学誘致について

**答** 毎年四・五百人の若者が進学、就職で島を離れており、大きな要因として島内に大学がない為とされている。「大学設立の可能性調査」を国に申請した。

## 保育コンシェルジュの

### 設置について

師玉 敏代（自民新風会）



**問** ミカンコミバ工問題の流通業者等への金融支援策について

**答** 農業・卸小売業・流通製造業者等を対象に、借入額二千万円を限度に二年間の利息全額を補助するものである。

**問** セーフティネット保証二号について

**答** 金融機関が融資を行うにあたり、保証協会が通常保証の別枠での全額保証は、金融機関の融資リスクを低減し、円滑な資金調達が可能になる。

**問** 保育コンシェルジュの設置について

**答** 保育に関する総合案内人で、必要に応じて関係機関との連携等を行うもので、必要があると認識している。

**問** 住用内海バンガローの管理者と改修について

**答** 浸水を防ぐための護岸整備を進め、内装・外装の施設計画を進めている。管理人として、ふさわしい人員の確保を図る。

その他の質問事項

- 指定管理者、第三セクターの管理運営について
- 里親制度、親子山村留学、奄美留学について
- 保健センターの充実

## 自衛隊ミサイル基地建設に

### 伴う説明会について

三島 照（日本共産党）



**問** 自衛隊ミサイル基地建設に伴う説明会について

**答** 大熊集落前を通る工事車両に関して、地域住民、通学時の子供たちの安全確保に関係機関と連携し適切に対応したい。平成二十八年度の早い時期に住民説明会を国と一緒に開催できないかと考えている。

**問** 随意契約のあり方について

**答** 随意契約の考え方、執行方法の適切な運用方法について、職員への周

知徹底を図ることを目的に毎年、各課担当者への共通認識を図っている。

**問** 市民のくらしを分析して、施政に生かすために、全ての事業所の実態調査をすべきでは

**答** 昨年の八月から九月にかけて実施した。結果状況については「良い」という回答が九、四％「普通」が四、六％、悪いが四十四、六％となり、地元紙の調査に近い数字となった。結果を業種ごと分析すると「製造業」「商業」「建設業」において業況が悪いと回答した割合が高いという結果になっており、公共事業の減少と人口減少による影響が。

## 「不妊・不育治療支援 助成金事業」の概要について

**安田 壮平**  
(自民新風会)



**問** 「市政の主人公は市民である」という政治理念実現のための具体策は

**答** 本気で人口を増やしたい集落を募集し、行政も一緒に知恵を絞り、紡ぐきよらの郷づくり事業や定住促進住宅整備事業等を活用しながら、モデル地区となる取り組みをする。

**問** 「不妊・不育治療支援助成金事業」の概要は

**答** 四十三歳未満で市税等の滞納がない方が対象で、特定不妊治療が年

十万円、一般不妊・不育治療が年五万円を上限に、治療費の一部を通算五年間助成する。

**問** 飼い猫の室内飼養を普及させるための具体策は

**答** 意識の醸成は子どもの頃の早い段階から形成されるものであり、家庭や学校などで長期にわたる教育が求められている。

**問** 十八歳以上への選挙権拡大に向けた取り組みは

**答** 今夏の参院選・知事選等の投票日の翌日までに十八歳になった方が対象で、この春に島外に出た場合も奄美市が所属する選挙区について郵便による不在者投票をするところがある。

## 陸上自衛隊配備に伴う 宿舎建設について

**西 公郎**  
(自民新風会)



**問** 地方創生総合基本方針での金融機関の役割について

**答** 地方創生を推進するうえで、具体的な役割分担や連携体制について金融機関と協議したい。

**問** 市政十周年における合併功労者表彰制度について

**答** 表彰の対象者については自治、保健・医療・福祉、産業・経済、消防・防災、教育・文化スポーツとして特別功労という六つの分野においてそれぞれ表彰を行う。

**問** 陸上自衛隊配備に伴う宿舎建設について

**答** 検討にあたっては隊員の緊急時における参集時間や家族の買い物、福利厚生、教育環境などを含めて検討される様である。

**問** 陸上自衛隊配備に伴う宿舎建設について

**答** 検討にあたっては隊員の緊急時における参集時間や家族の買い物、福利厚生、教育環境などを含めて検討される様である。

**問** 陸上自衛隊配備に伴う宿舎建設について

**答** 検討にあたっては隊員の緊急時における参集時間や家族の買い物、福利厚生、教育環境などを含めて検討される様である。

**問** 陸上自衛隊配備に伴う宿舎建設について

**答** 検討にあたっては隊員の緊急時における参集時間や家族の買い物、福利厚生、教育環境などを含めて検討される様である。

## 歴史民俗資料館の施設の 改修事業について

**橋口 和仁**  
(自民新風会)



**問** 未整備地区への光ブロードバンド事業について

**答** 平成二十八年度から平成三十年度の三年間で予定し、平成二十八年度は、赤木名中学校校区ほぼ全域を整備する。平成二十九年度は、名瀬の下方、住用町、平成三十年度は笠利中学校校区、東城校区、古見方地区を計画し、民設民営で整備を図る。

**問** Wi-Fiの取り組みについて

**答** Wi-Fiの増設について

では、観光、交流や市民の利便性向上からも増設の必要性があるものと考えており、調査結果をふまえ、整備箇所等の検討を行い、使用基準等については、検討したい。

**問** 歴史民俗資料館の施設の改修事業について

**答** 建物をはじめ、展示内容まで含めた大規模な改修が必要でないかと検討している。今後、県文化財課や文化庁の指導を受け改修計画を計画する。

**問** 歴史民俗資料館の施設の改修事業について

**答** 建物をはじめ、展示内容まで含めた大規模な改修が必要でないかと検討している。今後、県文化財課や文化庁の指導を受け改修計画を計画する。

**問** 歴史民俗資料館の施設の改修事業について

**答** 建物をはじめ、展示内容まで含めた大規模な改修が必要でないかと検討している。今後、県文化財課や文化庁の指導を受け改修計画を計画する。

## 施政方針と予算編成について

関 誠之せいき まさゆき  
(社会民主党)



**問** 平成二十八年年度の施政方針と予算編成について

**答** 名瀬所管内における有効求人倍率が平成二十六年平均で〇・七になるなど経済状況は回復基調にある。しかし、市税等の状況を踏まえること十分とは言えず、地域雇用の確保と市民経済の活性化が重要であると考えている。

**問** 具体的な予算は何か

**答** 子育て環境整備のための各種事業、小学生までを対象としたことも医療費の拡充、光ファイバーバンド基盤整備、観光受

入体制強化の事業費。

**問** 改正奄振法の充分な活用と振興交付金について

**答** 特例通訳案内士の資格取得のための研修を八月頃から実施予定である。振興交付金は、平成二十七年補正予算三億七千万円と合わせ、実質二十四億二千万円の予算となり、奄美―沖縄間の航路・航空路運賃低減の通年実施、沖縄までの水産物輸送支援の実証事業が拡充された。

その他の質問事項

○名瀬・住用地区学校給食センター建設について

○人口減少への歯止め策

## 合併後の義務的経費の推移と

### 財政改革の成果について

与 勝広あたえかつひろ  
(公明党)



**問** 合併後の義務的経費の推移と今後十年間の予想推移と財政改革の成果について

**答** 義務的経費については、平成十八年度は約百六十五億円、以後平成二十一年度までは横ばいでしたが、平成二十二年度は扶助費の大幅増により約百七十八億円に乗り、平成二十六年決算では約百七十九億円と百八十八億円に迫っている。

合併後十年間の成果は、起債残高を四十億円減額し基金残高を七十億増額

させ、合計で百十億円の財政健全化が実現。

**問** 平成二十九年四月から消費税率10%時に軽減税率の導入が始まりますが導入に対する市長の見解は

**答** 地理的条件により相対的に物価が高い奄美群島においては、本土との地域格差を是正する観点から消費税の負担軽減を図る必要があると考えており国に要望しているところであります。食品などの生活必需品の税率を低く抑える軽減税率の導入は物価が割高である奄美群島においても有効な手段であると考えているが、その推移を注視したいと思う。

## 奄美市の未来像について

林山 克巳はやしやまかつみ  
(自由民主党)



**問** 人口ビジョンと総合戦略について

**答** 本市の人口は三地区(笠利・名瀬・住用)とも減少しており、高齢者比率に於いては昨年十月時点で二十七・八%となっている。

**問** 平成二十六年年度統計書において、一人当たり市民所得二百二十四万五千円(月・十八万四千円)あくまで平均単価であり、実際は手取りで十二万五千円の世帯がほとんどであり、この現状をどう思うか

**答** 子どもからお年寄りを含めた額が、二百二十五万二千円であり、直近の数字としては七千円増加しているが、まだまだ経済状況が好転しているとは言い難く、この現状を踏まえて『しあわせの島』実現に向けた奄美市『攻めの』総合戦略を策定した。

**問** 所得向上の対策と施策において、マイスター制度(ドイツ発祥)があるが、この制度を市の施策として活用できないか。

**答** 国内の企業においても、従業員の技術に合わせた対価を支払うマイスター制度を活用しており、本市においても、産業振興における研究課題とした。

# 第7回議会報告会を開催

地域の課題などについて意見交換



【名瀬会場】



【住用会場】



【笠利会場】

第7回議会報告会を2月5日（金）に開催しました。  
名瀬地区 33人（男22人女11人）… AiAiひろば  
住用地区 34人（男29人女5人）… 住用総合支所  
笠利地区 33人（男31人女2人）… 笠利総合支所  
いただきましたご意見は、今後の議会報告会のあり方や議会運営の参考とさせていただきます。

奄美市議会では、開かれた議会をめざして市民の皆様には議会の活動状況をお知らせし、皆様からのご意見を市政に反映させるために議会報告会を実施しています。

今回皆さまからいただいたご質問やご意見について行政当局から回答があった一部をご紹介します。

**問** 光ファイバー整備の早期実現を要望する。

**答** 未整備地域について今年度から基盤整備を実施し、平成三十年代までに整備を完了する計画です。



**問** 奄美への企業誘致を行い仕事、雇用の場を作してほしい。

**答** 情報通信分野における仕事誘致を含めて、雇用の場の創出に努めています。

**問** 認定こども園の建設を要望する。

**答** 教育委員会とも連携を図り、教育ニーズ及び保育ニーズの将来的な需要を見極めながら、その確保に向けたひとつの方策として、民間の保育所や幼稚園からの移行も含め検討していきたいと考えております。

**問** 陸上自衛隊警備部隊・ミサイル部隊配備に関する市民への説明会を要望する。

**答** 平成二十八年度の早い時期に開催できるように調整中です。

**問** 住用地区リハビリ対象者の送迎が無い状況なので、送迎バス対応を要望する。

**答** 医療機関への送迎用のバスを市で対応する予定はございません。七十五歳以上の高齢者については一人五千円の交通機関利用補助券を発行する予定にしております。

**問** 和瀬地区国道沿い住宅排水の早期解決を要望する。

**答** 現地調査の結果、国道側溝から和瀬川までの排水路の土砂除去を早急に行いたいと考えています。

**問** 国道五十八号線城集落の改修工事の早期実施と金久田川河川改修の早期実現を要望する。

**答** 字池田、字金久田、字金久は、法務局の公図と現地が全く一致していない、いわゆる字図混乱地区となっているため改修事業が進まない現状にあります。

**問** 字池田、字金久田、字金久は、法務局の公図と現地が全く一致していない、いわゆる字図混乱地区となっているため改修事業が進まない現状にあります。

現在は、地区の要望等を受け字図混乱解消に向けた勉強会を県及び市の関係課を中心に開催していますが進展していないのが現状です。

**問** 農道の未舗装整備を早急にしてほしい。

**答** 農道の舗装につきましては、補助事業を導入し優先順位を定め、年次的に取り組んでいると見込んでおります。

**問** 合併を検証し住民アンケートを実施すべき。

**答** 合併については、十年を検証し、ホームページで公表しているところです。住民アンケートについては、地域協議会での意見等も参考にしながら、引き続き三地域の均衡ある発展を目指した施策に取り組み中で検討ついでまいりたいと考えております。

**問** 合併特例債・地方交付税が減少するなか予算編成への影響はないのか。

**答** 歳入の減による予算規模の縮小が予想されるため市税などの自主財源の確保や計画的な基金の積立を行います。

**問** 新年度予算・決算の財政数値を円グラフでわかりやすくしてほしい。

**答** 予算についてはホームページに掲載しています。決算について今後、ホームページに掲載するなどの対応をします。

**問** 地域の特性を生かした予算配分をしてほしい。

**答** 集落の魅力を活かした観光施策や光ファイバー等の基盤整備など、地域の特性を生かした施策について官民協働で推進してまいりたいと考えております。



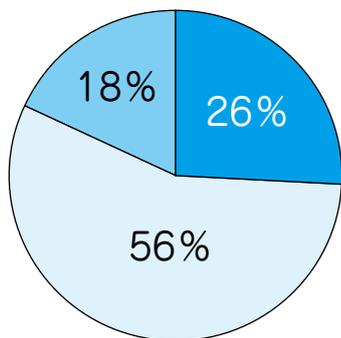
あなたのまちの議会を間近で見ませんか！！

平成28年第2回定例会は6月15日開会です

一般質問は、6月16日（木）から21日（火）までの予定です。（質問者は未定）

当日のアンケートから

(議会報告会の回数について)



- 現状（1回）でよい（26%）
- 増やしたほうがよい（56%）
- 無回答（18%）

(あなたの年齢は)

20代:	0人
30代:	4人
40代:	1人
50代:	14人
60代:	28人
70代:	16人
80代以上	4人

アンケート回収数計 67人

平成 29 年度から議会報告会を年 2 回開催決定！！

アンケートの結果を踏まえて平成 29 年度からの議会報告会は、当初予算等の審査終了後と決算等の審査終了後の年 2 回開催することに決定しました。

議会報告会  
当日のアンケートから

「報告会の内容について」

○初めて参加しましたがなかなか有意義でした。

○質問についての明確な回答がない。各委員会の委員はもっと回答ができるようになってもらいたい。

○昨年に比べて活発な意見そしてそれに対する議員の対応にも積極性が感じられた。

○議員の発想の転換を促す意見が出るなど従来多かった単なる要望、苦言とは異なる傾向がみられ意義深い。ただ、参加者の固定化の傾向があるのが気になる。

○議会報告会はこんなもんか。地区の要望を聞く会なのなのよ。うな会の案内にしよう。

○要望なのか報告会なのか自分の思いだけに終始している方が多い。

○数名しか質問できない報告会となった。会の進行をもっと考えてほしい。

○質疑に対する回答は議員各自の答弁ではなく議会としてまとまりのある答弁にしてもらいたい。

「議会に対して望みたい」

○議員定数の削減について、人口減少に合わせたものに話し合いたい。

○市民に密着した議会を望んでいます。議員の一人一人が市民の代表であることを忘れずに幅広い分野でいろんなことに取り組んでほしい。

○毎年計画している所管事務調査の報告を議会報告会としてほしい。

○合併から十年の総括をしてほしい。

※その他の会場で出されたご質問やご意見は奄美市議会ホームページに掲載いたしますのでご覧ください。

## 奄美市議会本議会の録画配信をスタート

(お仕事などで本会議を傍聴できない方、ライブ中継をご覧できなかった方など、ぜひ、ご活用ください。)



奄美市議会では、現在議会本会議のインターネットによるライブ中継を行っておりますが（議会開会中のみ）、市民の皆様に関われた議会を目指し、平成28年第1回定例会分から議会本会議の録画映像を試験的に配信します。

録画映像は、各定例会及び臨時会の終了後、おおむね2～3週間後から奄美市ホームページ及びYouTube（ユーチューブ）サイトでの視聴が可能です。

なお、ご覧になる際は、下記注意（免責）事項をご確認ください。

### 【注意（免責）事項】

- 議会録画配信は本市議会の公式記録ではありません。本会議の公式記録は会議録をご覧ください。
- 議会録画配信の著作権は、本市議会に帰属します。配信している画面、映像あるいは内容を許可なく他のウェブサイトや著作物等に転載しないでください。
- その他免責事項等、詳しくは奄美市ホームページ『奄美市議会』でご確認ください。

# 第一回定例会 常任委員会の審査概要

第二回定例会における常任委員会では、二月十八日に文教厚生・産業建設十九日に総務企画のそれぞれの委員会で議案・陳情について審査しました。

## 総務企画委員会

総務企画委員会では議案一件及び陳情一件を審査し議案一件は、原案のとおり可決すべきものと決し、陳情一件は継続審査としました。

一般会計補正予算の主なものとして、地方創生推進費の大学等設立可能性調査事業負担金につきましても、奄美大島に大学を設立、あるいは既存大学の分校開設などの可能性について五市町村で連携して調査を実施するもの、移入生物分布調査事業負担金につきましても、リュウキュウアユなどの希少水生生物を観光資源として活用するため、分布調査や外来種駆除体験型保全活動などを、宇検村・龍郷町と連携して実施するもの、あまみんちゅ結事業負担金につきましても、観光振興に向けた都市部出身者組織（郷友会等）とのネットワーク構築のため、宇検村・瀬戸内町・龍郷町と連携して「奄美のタベ」を開催するものとの補足説明がありました。委員より地方創生加速化交付金事業の奄美市移住促進情報発信強化事業の地図情報システム整備の四千五百万円の事業について質疑があり、当局からは移住情報として移住希望者がその物件が実際どこにあるのか、周辺の環境等を見えるように地図情報システムを整備するもので複数年で取り組む計画であり、空き家の情報だけでなく、廃屋や危険な家屋、あるいは固定資産税の地図情報等も調査し総合的な地図情報システムの構築に取り組むものとの答弁がありました。

## 文教厚生委員会

文教厚生委員会では、議案六件を審査し、すべて原案のとおり可決すべきものと決しました。

一般会計補正予算の主なものとして、臨時福祉給付金として千二百万円減、障害者福祉費扶助費として七千五百万円増、子育て支援員謝金として百一十万円減、世界自然遺産登録推進基金積立金として七十六万円増、大島北高等学校生徒通学費等補助金百七十万円減、公民館費システム使用料二百三十五万二千円減を計上した等の説明がありました。

子育て支援員謝金について質疑があり、支援員の養成に時間がかかり二月からの事業実施となったため不用額が生じたとの説明でした。臨時福祉給付金の支給状況について質疑があり、新聞・広報誌やFMラジオを使った広報活動や申請延長を行ったが申請件数は、減少したとの説明でした。公民館図書システム使用料の減額について質疑があり、プロポーザル方式で入札を行い八業者に入札通知をしたが一業者が参加し、当初見込んだ金額

よりも少ない金額での業務執行になったとの説明でした。

奄美市立幼稚園保育料徴収条例の一部を改正する条例の制定については、子ども・子育て支援法の改正によるものと説明があり、筈利と名瀬で幼稚園の保育料の差額が十年もあることについて質疑があり、二十八年度に公立幼稚園あり方検討委員会を設置して、両地区の保育料のあり方を含めて議論するとの説明でした。

## 産業建設委員会

産業建設委員会では、議案五件及び陳情一件を審査し、議案五件はすべて原案のとおり可決すべきものと決し、陳情一件を継続審査と決しました。

一般会計補正予算の主なものとして、当局から、マンングローブパーク内の屋根付きバス停整備工事費を計上しているとの説明がありました。委員から設置場所について質疑があり、マンングローブパーク内に現在観光バスが停まっているスペースがあり、観光バスを利用するお客様と交差をせず、バス停を降りたら雨に濡れずに本館に歩いて行

けるようにと考えているとの答弁がありました。

また、当局から、県単急傾斜地崩壊対策事業費を減額計上したとの説明がありました。委員から急傾斜地箇所数及び市の負担額について質疑があり、奄美市全体で二百一十五箇所である。市が行う事業の場合には、市と県で五十%ずつ負担という事になっているが、保全家屋が五戸以上の大規模なものについては、市が負担金として十%ないし、条件によっては五%というものもあるとの答弁がありました。

奄美市公共下水道事業特別会計補正予算について、繰越明許費の地震対策の内容について質疑があり、これは補助事業のメニューであり、内訳としてはポンプ場の改築更新工事、管渠工事となっているとの答弁がありました。

奄美市水道事業会計補正予算について、業務活動によるキャッシュフローの未収金増減額の内容について質疑があり、予算の編成段階で消費税及び地方消費税が還付になったため、これを未収金に計上したとの答弁がありました。

## 第 1 回 定 例 会 の 主 な 議 案

件 名	議決結果
専決処分の承認を求めることについて（専決第1号 平成27年度奄美市一般会計補正予算（第7号）について）	承 認
平成27年度奄美市一般会計補正予算（第8号）について	原案可決
平成27年度奄美市国民健康保険事業特別会計補正予算（第4号）について	原案可決
平成27年度奄美市国民健康保険直営診療施設勘定特別会計補正予算（第2号）について	原案可決
平成27年度奄美市介護保険事業特別会計補正予算（第4号）について	原案可決
平成27年度奄美市訪問看護特別会計補正予算（第1号）について	原案可決
平成27年度奄美市公共下水道事業特別会計補正予算（第3号）について	原案可決
平成27年度奄美市農業集落排水事業特別会計補正予算（第3号）について	原案可決
平成27年度奄美市水道事業会計補正予算（第2号）について	原案可決
奄美市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
奄美市立幼稚園保育料徴収条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
「議案第10号 奄美市立幼稚園保育料徴収条例の一部を改正する条例の制定について」に対する附帯決議について	原案可決
住用町市湾の赤土汚染に関わる陳情	採 択
「奄美に大学を設置する審議会」の発足に関する陳情	継続審査
平成28年度奄美市一般会計予算について	原案可決
平成28年度奄美市国民健康保険事業特別会計予算について	原案可決
平成28年度奄美市国民健康保険直営診療施設勘定特別会計予算について	原案可決
平成28年度奄美市後期高齢者医療特別会計予算について	原案可決
平成28年度奄美市介護保険事業特別会計予算について	原案可決
平成28年度奄美市訪問看護特別会計予算について	原案可決
平成28年度奄美市公共下水道事業特別会計予算について	原案可決
平成28年度奄美市農業集落排水事業特別会計予算について	原案可決
平成28年度奄美市ふるさと創生人材育成資金特別会計予算について	原案可決
平成28年度奄美市と畜場特別会計予算について	原案可決
平成28年度奄美市交通災害共済特別会計予算について	原案可決
平成28年度奄美市水道事業会計予算について	原案可決
奄美市個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
奄美市行政不服審査会条例の制定について	原案可決
行政不服審査法の施行に伴う関係条例の整備等に関する条例の制定について	原案可決
奄美市職員の退職管理に関する条例の制定について	原案可決
奄美市減債基金条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
奄美市税条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
奄美市消費生活センター条例の制定について	原案可決
奄美市乳幼児の医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
奄美市希少野生動植物の保護に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
奄美市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
奄美市公民館条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
奄美市営住宅条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
過疎地域自立促進計画の策定について	原案可決
奄美市道路線の廃止及び認定について	原案可決
平成27年度奄美市一般会計補正予算（第9号）について	原案可決
奄美市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
人権擁護委員候補者の推薦について（4件）	承 認
農業委員会委員の任命について（16件）	同 意
教育委員会委員の任命について（2件）	同 意

※前議会からの継続審査事件

件名	議決結果
「商店版リフォーム助成制度の創設」を求める陳情	継続審査
女性差別撤廃条約選択議定書の速やかな批准を求める陳情	継続審査

**陳 情 の 状 況**

番号	件名	提出者	結果
陳情第1号	住用町市湾の赤土汚染に関わる陳情	奄美市住用町市集落区長 田川 一郎 市集落環境対策委員会 委員長 栄 清安	採 択
陳情第2号	「奄美に大学を設置する審議会」の発足に関する陳情	自然と文化を守る奄美会議 大津 幸夫	継 続 審 査

**第 一 回 定 例 会  
特別委員会の審査概要**

第一回定例会に上程された平成二十八年度の各会計予算議案等の審査のため、一般会計と特別会計に分けて二つの特別委員会を設置しました。

三月十日、十一日、十四日の三日間の日程で慎重に審査を行い、最終本会議に報告採決の結果、可決となりました。

**【一般会計等予算審査】**

一般会計予算等審査特別委員会では、三日間の日程で議案十五件を審査し、いずれも原案のとおり可決すべきものと決しました。

一般会計予算については、総務費関係では地籍調査事業費補助金六千八百七十三万七千円は、国五十五％、県十五％の補助金。名瀬地区では、根瀬部と西仲勝、住用地区では川内・東仲間・役勝・市、笠利地区では和野と用の調査を行う計画、これによりまして、平成二十八年度末の進捗率は

名瀬地区が二十六・六十七％、住用地区が二十一・十三％、笠利地区が六十一・三十九％となり、奄美市全体では三十一・三十四％となるとの説明。奄美空港ターミナルビル整備事業の改修の内容について質疑があり拡張工事は、耐震改修・外構工事。ボーディングブリッジ（基増設）・手荷物受取レーン（基増設）、到着ロビーに情報発信スペースをもつける計画との答弁がありました。民生費の臨時福祉給付金一億七千六百三十万円は、今回三種類の給付が予定されており通常の臨時福祉給付金一人当たり三万円、障害・遺族基礎年金受給者支援臨時福祉給付金一人当たり三万円、低所得者高齢者支援臨時福祉給付金一人当たり二万円との説明。衛生費の子ども医療費助成金の九千二百六十九万三千元については、小学校卒業までの児童にかかると医療費に要する経費の自己負担分について全額助成する

ため、それに要する経費を予算計上。前年度の当初予算と比較して二千六百八十四万三千円の増額となっているとの説明。光ノローバンド基盤整備事業一億五千五百万円の内容について質疑がありこの事業は、民設による光ケーブルの敷設に市が一定の負担金を支出するもので市内の未整備地区の笠利地区の全域、住用地区の全域、名瀬地区の下方の一部（小宿、知名瀬、根瀬部、里）、古見方を二年かけて整備する計画との答弁。そのほか地方債残高など幅広く質疑がありました。

**【特別会計等予算審査】**

特別会計予算等審査特別委員会では、二日間の日程で十二件の特別会計予算等議案について審査し、いずれも原案のとおり可決すべきものと決しました。

国民健康保険事業特別会計では、保険財政共同安定化事業拠出金が前年と比べ増額になっている理由についての質疑があり、保険財政共同安定化事業拠出金は鹿児島県全体の医療費を各市町村で按分するもので、増えている要因は一十七年度の実績に比べて二十八年度の県全体の医療費が増える見込みと

行い、市の負担分が増えているとの説明がありました。

後期高齢者医療特別会計予算では、後期高齢者保険料が値上げとなっているが、国保運営協議会のような議論の場があるのかとの質疑があり、議論の場としては、広域連合会に保険料部会があり、そこで高齢者の方々の医療費の推計を試算し、それを基に協議がなされ、広域連合会の中の運営委員会として市町村長・市町村議会議員等二十名で構成されている広域連合の議会の中で諮ることになるとの説明がありました。

介護保険事業特別会計予算では、成年後見制度利用支援事業の利用状況についての質疑があり昨年度一件、その前の年度二件と、本人の判断能力が低下したという事で、代わりに申し立てをする方がいないという事で、市が四親等以内の親族に変わって裁判所に申し立てを行っているが、今年度はまだ実績なしであるとの説明がありました。

公共下水道事業特別会計予算では企業会計に移行するという事だが、なぜ移行しなければならないのかとの質疑があり、地方公営企業法及び地方公共団体の財政の健全化に関する法律の施行に関する

取扱いの部改訂において、将来的には農業集落排水事業等も、取り組む必要があるのではという中で、現段階では平成三十一年の四月から公共下水道に関しては公営企業に移行しようとするの通達があったとの説明がありました。

世界自然遺産登録へ向けて、文教厚生委員会委員は、金作原原生林の視察を行いました。

※文教厚生委員会の委員七名は、二月十六日に金作原原生林の視察を行いました。  
平成三十年に「奄美・琉球」が、世界自然遺産登録されると多くの観光客が訪れます。そのためには、道路・駐車場・トイレの整備が必要だと感じ、自然保護に配慮した働きかけを強くしていきたいと思いました。



オキナワウラジロガン



ヒカゲヘゴ

## 議 会 の 動 き

- 平成 28 年 2 月 2 日 「ミカンコミバエ問題」に関する特別委員会  
 5 日 議会報告会  
 議会だより編集委員会  
 1 2 日 議会運営委員会, 全員協議会  
 奄美群島市町村議会議員研修会  
 1 6 日 文教厚生委員会金作原視察  
 「ミカンコミバエ問題」に関する特別委員会  
 1 8 日 奄美市議会第 1 回定例会開会  
 文教厚生委員会審査, 産業建設委員会審査  
 1 9 日 総務企画委員会審査  
 2 1 日 笠利地区生涯学習講座閉講式  
 2 2 日 本会議, 全員協議会  
 2 4 日 第 1 回鹿児島県市町村総合事務組合議会定例会 (於: 鹿児島市)  
 2 5 日 各種協議会等及び奄美群島広域事務組合第 1 回定例会  
 市町村長・議会議長合同会  
 2 8 日 まなび・福祉フェスタ  
 3 月 3 日 一般質問 — 津畑議員, 崎田議員, 松山議員, 奥議員, 栄議員  
 4 日 一般質問 — 元野議員, 平川議員, 川口議員, 戸内議員, 師玉議員  
 6 日 名瀬・住用地区生涯学習講座合同閉講式  
 7 日 一般質問 — 三島議員, 安田議員, 西議員, 橋口(和)議員  
 8 日 一般質問 — 関議員, 与議員, 林山議員  
 9 日 本会議  
 1 0, 1 1, 1 4 日 予算等審査特別委員会 (一般会計は 3 日間, 特別会計は 2 日間)  
 2 0 日 奄美市市制施行十周年記念式典及び祝賀会  
 2 2 日 最終本会議  
 4 月 1 4 日 奄美群島市町村議会議長・事務局長合同会  
 1 7 日 第 99 回関西奄美会総会並びに芸能大会 (於: 尼崎市)  
 2 1 日 県下市議会議長会定期総会 (於: 阿久根市)  
 2 7 日 九州市議会議長会定期総会 (於: 長崎市)

◎ 来訪議会・見学等

- 平成 28 年 2 月 9 日 栃木県鹿沼市議会 (3 名) 移住定住施策について  
 2 月 1 5 日 大分県杵築市議会 (5 名) ミカンコミバエ対策について  
 3 月 2 8 日 愛媛県今治市議会 (3 名) スポーツアイランド構想について

**市議会だより編集委員会**

委員長 師玉敏代  
 副委員長 松山さおり  
 委員 安田壮平  
 安田誠之  
 崎田信正  
 伊東隆吉  
 橋口耕太郎  
 林山克巳

**編集あとがき**

新年度に入り、奄美ではアマミセイシカの白い花が山々を彩り、初夏を思わせるさわやかな風を感じる季節となりました。

今年の三月で奄美市市政施行十周年を迎え、市民の皆様にとりましても、期待に満ちた年になるのではと思われている方も多いのではないかと思います。独特の文化、歴史、自然を有するふるさと奄美を想うとき、二年後に迫った世界自然遺産登録は島民の明るい展望でもあります。

『くいくとばなんていじいんかねいやいらん』・挨拶や言葉かけのにお金はいらないとの意味ですが、結のころを待つ奄美つちゆの祖先から受け継がれた精神です。わきや島奄美を世界へへの思いで課題に取り組んでいきたいと思えます。議員一年生でやれる事は市民皆様のもとに伺い、お声をしっかりと聞き取り、問題を議会に取り上げ、それを紙面でお伝えるのが『市議会だより』です。

(松山さおり)

奄美市議会ホームページアドレス <http://www.city.amami.lg.jp/gikai/shise/shigikai/index.html>